

令和 8 年

駒ヶ根市教育委員会 第 6 回定例会

会 議 録

駒ヶ根市教育委員会

令和8年駒ヶ根市教育委員会 第6回定例会議事日程

告示年月日 令和8年5月15日（金曜日）

開催年月日 令和8年5月26日（火曜日）

開催場所 駒ヶ根市役所 南庁舎2階 大会議室

開会時刻 午前10時00分

閉会時刻 午前10時56分

- 1 開会
- 2 教育長報告
- 3 事業報告及び事業計画
 - ・ 定例会教育委員会 6月30日（火）午後2時00分～南庁舎2階 大会議室
- 4 審議案件
 - 議案第1号 駒ヶ根市子ども・子育て会議委員の任命について
 - 議案第2号 駒ヶ根市図書館協議会委員の任命について
 - 議案第3号 県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について【非公開】
 - 議案第4号 駒ヶ根市十二天の森整備活用検討委員の委嘱について
- 5 協議事項
 - （1）総合教育会議について
- 6 報告事項
 - （1）行事共催等承認申請の専決処分について
- 7 その他
 - なし
- 8 閉会

出席者

教 育 長	齊 藤	博
教育長職務代理者	唐 澤	浩
委 員	木 下	健 一
委 員	山 田	恵 美
委 員	小 池	文 弘

欠席者

なし

委員以外で会議に出席した者

教育次長	赤 羽 知 道
子ども課長	水 野 毅
社会教育課長	木 下 岳 士
学校教育係長	駒 場 信 之
教育総務係長	倉 田 さおり
教育総務係	赤 羽 あゆみ

傍聴：0人（うち報道機関0人）

会議のてんまつ

議事日程記載のとおり

午前10時00分 開会

1 開会

○齊藤教育長 それでは、時間になりましたので第6回定例教育委員会を始めたいと思います。よろしくお願いいたします。(一同「お願いします」)

2 教育長報告

○齊藤教育長 それでは、教育長報告ということで、私のほうからお願いします。

今日の冊子の次第をめぐっていただいて、1ページ目からです。

今日はラインボックスで囲んだ読むものがたくさんになりましたので、後で読んでくださいということが多くなるとは思いますが、すみません、よろしくお願いします。

今週、それから来月の頭にかけて、小学校では、陸上大会、それから運動会が今週末、音楽会が赤穂小学校で来月、中学校では、ついこの間、東中学校でのデイキャンプや赤穂中学校の高原学習というのが行われています。日帰りのキャンプ、飯ごう炊さん等々です。それから、中学校では中体連南信大会がいよいよ陸上を皮切りにスタートすることになるとは思います。

前回の定例教育委員会でもお話ししましたが、非日常から学ぶのが大切だということで、前回は修学旅行の話をいたしました。

言葉で表せばというところですが、その下にあるように、子ども目線でいうと、非日常で学ぶ学び方ですが、学級活動や係活動の課題を自分なりに見つける、その課題に対して自分なりの見方、考え方を働かせて、あるいは友達の考えもいろいろ吸収して踏まえ、自分なりに方向を決める、自分で決めた方向や役割を最後までやり遂げようとする、活動を振り返って新たな課題を確認する、こういうサイクルを繰り返していくのが学びの道すじかなと思っています。

学級担任の先生や学年の先生からすれば、長い時間準備して積み上げてきたので、この子をどこで活躍させるかとか、この子の輝きどころはどこかとか、終わったときにどんな言葉でまとめるかとか、ずっと考えています。非日常で豊かな人間性や仲間づくり、このときでなければできない教育の内容かなと思います。

同じように、中体連の大会——3年生にとっては最後の大会になります。これも最後のまとめになります。地域クラブもいよいよ大会に参加しますので、部活動と地域クラブのまとめということになりましたが、勝ち負けにこだわるというのが主な目的ではありません。

教育委員の皆さんも事務局の皆さんも、部活動とか課外活動、学びの場がたくさんあるということは本当に承知の上だと思います。

いつかこれも最期を迎える、3年生が引退していく、このときにどんな引退をさせてあげることができるか、いわゆるどういうふうにならせていくか、顧問の先生や学級担任の先生、それから地域クラブの指導者の皆さんはずっと考えています。

私も顧問を持っていたときには最期をどういうふうにまとめていくかをずっと考えていました。

これも時を惜しむという学習のチャンスであるし、この時期にしかできない学びです。勝って学ぶこともあれば、逆に負けて学ぶことのほうが多いのかもしれませんが、今しかできない、そ

んな学びです。

ラインボックスの中は、私が教頭時代にそのときの校長先生から御指導いただいた1つの資料が残っていきまして、奥村秀雄先生——昭和59年に長野市の柳町中学を御退職された先生の本からということです。昭和59年というのは私が教員になる前です。学生時代ですので奥村先生は存じ上げませんが、私が御指導いただいたものになります。

長い文章ですので後でお読みいただければと思いますが、ざっくり言うと、優勝候補だったけれどもサッカーの試合で負けてしまった、家族もずっと協力してきたのに負けてしまったと、だけれども、お母さんにきちんとお礼を言って、今までありがとうという話をして終わりになった、そのお子さんの話です。

それから、2ページ目のラインボックスの下の方、早稲田大学で教鞭を執られていた窪田空穂先生の言葉が最後に載っていました。

「ほどもなく 移りゆくべき家とみつ 障子の破れ つくろいにけり」

その下に句の意味はどういう意味だったかというのが書いてあります。家の障子をきちっと最後まで繕って、すがすがしい気分新しいところへ赴いたということです。

また読んでいただければと思います。

それで、最後に太字で書きました。「熱願冷諦」とまとめさせていただきましたが、強く願って、最後は心静かに締めていくというような意味です。とにかく、心静かに幕を引いて、勝ったら喜びをかみしめて帰り、負けたら元気よく堂々と戻ってくるということで、私も顧問の時代にそんな話をした覚えがあるので載せました。

最後に3ページの「黒板に残されたメッセージ」、これもお読みいただきたいと思いますが、1990年ですので、30年ちょっと前の十何歳ですので、もう四十幾つになっている皆さんですかね。この「黒板に残されたメッセージ」は、北信地方はもちろんですけども、長野県内の教育界では有名な話です。

裾花中学校のバスケットボール部の生徒さんが同じ市内の中学校で——昔は中体連の郡大会って教室を選手控室で開放してくれていたのです。残念ながら2回戦で敗退してしまったバスケットボール部の子たちが「ありがとうございました」という意味で黒板にメッセージを残して帰ったということで、休みが明けて担任の先生が教室に入ったときにこれが目に入り、すぐに教頭先生、校長先生に報告し、これが後々まで残っています。

それで、裾花中学校の何十周年だったか、何十周年記念誌にもこのメッセージがそのまま書かれているということをお聞きしました。

こんな終わり方も、指導っていうか、子どもたちが身につけて最後は終わっていったのだなというふうに思っています。

おまけで、箱山さん、アーティスティックスイミング——昔のシンクロナイズドスイミングの選手ですが、井村コーチというのは指導者で、テレビやいろんなところに出ていまして、今は指導していないのかはちょっと分かりませんが、学んだことということで、これも資料がありました。

私が一番なるほどと思ったのは2番目のアスタリスクの上のポツです。「座らない」というところ。

「常にいろんな角度、方向から選手を見ている。「きつとこっちから見ているだろう」と思って

いるところではないところから見ている。」というのです。ここから見ているだろうなと思うところとは全然違うところから見ている。これだけ多角的、多面的に選手を見て、分析して、いい面、それから課題、選手のそういうところを見ていたところがやっぱり大事なところだなと思います。

また、「ブラッシャーをかけてもらえるのは選ばれた人」とか、そんな言葉もありました。

ラインボックスに長い文章を載せましたので、またお読みいただいてということで、よろしくお願いします。

以上です。

3 事業報告及び事業計画

○齊藤教育長 続きまして3番へ行きます。

事業報告及び事業計画ということで、次長さん、お願いします。

〔赤羽教育次長 事業報告及び事業計画資料により説明〕

○齊藤教育長 ありがとうございました。

それでは、事業報告、事業計画のところで御質問等ございますか。——よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○齊藤教育長 ありがとうございました。

4 審議案件

○齊藤教育長 それでは審議案件に入ります。

追加として第4号が入っておりますので、また後ほど御説明いたします。

議案第1号 駒ヶ根市子ども・子育て会議委員の任命について

○齊藤教育長 それでは、議案第1号 駒ヶ根市子ども・子育て会議委員の任命について、水野課長さん、お願いします。

○水野子ども課長 6ページを御覧ください。

駒ヶ根市子ども・子育て会議委員の任命についてであります。

駒ヶ根市附属機関に関する条例第2条の規定に基づきまして駒ヶ根市子ども・子育て会議の委員の任命をお願いするものであります。

名簿を見ていただいて、太字の方が今回任命をお願いする委員になります。任期満了、それから人事異動等で変更になったものになります。

任命年月日は令和8年4月1日、任期は令和8年4月1日から令和10年3月31日までの2年間となります。

よろしくお願いいたします。

○齊藤教育長 ありがとうございました。

それでは、御質問等ありましたらお願いします。——よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○齊藤教育長 それでは議案のとおり進めていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

議案第2号 駒ヶ根市図書館協議会委員の任命について

○齊藤教育長 続いて議案第2号 駒ヶ根市図書館協議会委員の任命について、木下課長さん、お願いします。

○木下社会教育課長 8ページをお願いいたします。

議案第2号 駒ヶ根市図書館協議会委員の任命についてでございます。

図書館法第15条及び駒ヶ根市附属機関に関する条例第2条の規定により、下記のとおり駒ヶ根市図書館協議会委員に任命したいとするものです。

委員につきましては橋倉卓也さんでございます。中沢小学校の校長、校長会からの推挙ということで、前任者の異動に伴いまして交代ということでの任命であります。

任命年月日は令和8年4月1日、任期は令和8年4月1日から令和9年3月31日までということで、前任者の残任期間となるものでございます。

説明は以上です。

○齊藤教育長 ありがとうございます。

それでは、図書館協議会委員の任命について、御質問等、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○齊藤教育長 ありがとうございます。

それでは提案のとおり進めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

議案第3号 県教育委員会及び市町村教育委員会相互の連絡調整について【非公開】

〔齊藤教育長 資料により説明〕

○齊藤教育長 御質問等ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕 それでは、よろしくお願いします。

議案第4号 駒ヶ根市十二天の森整備活用検討委員の委嘱について

○齊藤教育長 それでは、議案第4号 駒ヶ根市十二天の森整備活用検討委員の委嘱について、木下課長さん、お願いします。

○木下社会教育課長 13ページをお願いします。

議案第4号 駒ヶ根市十二天の森整備活用検討委員の委嘱についてでございます。

こちらは附属機関ではございませんので委員会要綱を内部でつくっておりますけれども、任期は1年ということで、毎年委嘱させていただいております。

御覧いただくとおり、8名の委員さんがおりますが、上から順に、伊藤先生から小澤雅樹さんまで、こちらは昨年と同様のメンバーでございます。

小澤さんにつきましては、昨年度は福岡区の副区長としてお越しいただいておりましたが、本年度は区長さんという立場でお越しいただきます。

以下、横山さんは南割区長さん、佐野さんは市保育協会の代表で飯坂保育園の園長先生になります。それから板倉さん、こちらは学校教育関係者ということで赤穂南小学校の校長先生でございます。

委嘱年月日は令和8年4月1日から、任期は令和8年4月1日から令和9年3月31日までの一年間です。

以上でございます。

○齊藤教育長 ありがとうございます。

それでは、十二天の森整備活用検討委員の委嘱について御質問等がありましたらお願いいたします。——よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○齊藤教育長 それでは原案どおり進めていきます。よろしくお願いします。

ありがとうございます。

それでは、4番の審議案件はこれで終了ということで、次に進めます。

5 協議事項

(1) 総合教育会議について

○齊藤教育長 5番の協議事項、総合教育会議について、次長さん、お願いします。

○赤羽教育次長 それでは、14・15ページになりますが、総合教育会議についてです。

先月の定例教育委員会の中で総合教育会議を7月31日の午後に行うとお知らせしてありますが、本日は総合教育会議の中でのそれぞれの委員さんと市長部局との懇談事項について御協議をお願いしたいということでもあります。

14ページは、これまで、過去何年か行ってまいりました総合教育会議の折の懇談事項、それで、15ページは令和7年度のそれぞれの委員の皆さんの懇談事項であります。

今年度につきましては、教育委員会内の特に大きな課題としますと、小中学校の今後の編成や人数の関係のことだとか、社会教育のほうでいきますと部活動の地域展開が本格的になってくるということ、それと、保育園に目を移しましと、新しい保育園を今建築しておるところですけれども、統合によって建築されるということが大きなことでございます。

そのことにこだわらずで結構でありますので、委員さんのほうからそれぞれ思うところの項目をお挙げいただいて、来月——6月にもう少し深掘りして本番に臨みたいと思っておりますので、お願いいたします。

どうしますか、それぞれの委員さんからどんな項目がいいか、唐澤委員さんのほうから……。昨年は市長のほうから何か提案をいただいてということであつたけれども……

○唐澤教育長職務代理者 何かあれば今年もそれでいいと思いますし……。

今言われたように、これからの学校の統合とか、そういう問題は大きい問題で、やはりそういう話をしたほうがいいとは思いますが、公開の場ではなかなか難しいのではないかとと思うところもあり、どうかとは感じますが、必要なことだとは思いますが。何かそのテーマも決めればいいのかもかもしれません。

あとは、私が個人的に考えると、すごく小さいことですが、全体としては小さいけれども、やっぱり十二天の森の問題は結構大きいと思っています。整備活用検討委員会もあるけれども、内容を聞いていると、やっぱり市対福岡区民みたいな感じになっちゃっているところもあるので、市長が十二天の森に関してどのぐらい思っているのかというのは、私はやっぱり聞きたいとは思っています。

○赤羽教育次長 それでは、木下委員さん。

○木下委員 今、唐澤委員さんもちよっと触れましたけれども、少子化に伴う学校のこれからの問題ですよね。

もう竜東の小学校2校は本当に急務な状態になっています。10年も前の資料を見ても、私の前任者のときから確かに総合教育会議の中で触れておったのですよね。

それで、これからしばらくは複式でしのぐことに間違いないと思うけれども、いずれ小さいもの同士で統合の話にはなってくるけれども、今言われたとおり、ここで話をするのではないので、ちょっと音頭を取っていただいて、各地区に振っていただいて、こういう話をしてこいという流れをまずつくっていただきたいというお願いをしたいのが一つです。

あと、部活動の地域移行の話が継続であるけれども、さっきの予定では、いつでしたっけ、4日にどこかで会議がありましたよね。

○赤羽教育次長 協議会があります。

○木下委員 この辺の内容を次回の定例教育委員会でお知らせいただいて——この間、他県で高校生の物すごく痛ましい事故がありましたけれども、学校任せなのか、民間任せなのか、我々もそういうところを把握して、児童生徒の安全な移動について触れてみたいと思います。ですから、4日の会議の内容をお知らせいただきたいと思います。

以上の2点です。

○赤羽教育次長 山田委員さん。

○山田委員 私も同じで、休日部活動の地域展開のことですけれども、駒ヶ根市は多分2026年よりもっと前から始まっているので、数年——3年目くらいになるのかなというところで、部活動によっては大分受皿が決まってきているとお聞きしているけれども、実際のところどのくらいになってきているのか、逆に、始まっている中で懸念事項なども出てきているんじゃないかというところで、実際の状況をまず聞きたい、どうなっているのかというところは整理したいです。

それから、受皿だけじゃなくて、今は、赤穂中学校と東中学校、それぞれ拠点校で動いていたと思います。それで、どの部活が拠点校に使っているのかもお聞きしたいところです。

大きくは、現状の整理と、それによって出てきている懸念事項などをお聞きしたいということがあります。

○赤羽教育次長 動き出してみてもうどうかということですね。

○山田委員 そうです。現状がどうなっているかと動き出してどんな声が出てきているか、あとは、逆に、文化系とか、移行が進んでいない部もあると思うのです。そういった部ではどういったところがネックになっているのか聞きたいということがあります。

それで、あともう一点、これは私がよく分かっていないからかもしれませんが、教育委員になってみて、駒ヶ根市には小学校が5つあって中学校が2つあって、学校によっていろいろとすごく特色があると感じていますけれども、実際、じゃ私が親や子どもだったとき、ほかの学校の状況をあまり知らなかったなと思うところがあって、駒ヶ根市として小学校同市や中学校同士がそういうことを知るような、交流するような場があるのかなと思います。

それで、今少子化になってくる中で、そういったことを知るによってすごく刺激になるのではないかなと思うところもあって、そういったものがあるのだとすればどういったものがあるのか、逆に、ないとすれば、そういったことを今後どういうふうを考えていращやるのかというところを開けたらいいなと思っているところです。

以上です。

○赤羽教育次長 小池委員、お願いします。

○小池委員 事業内容の中で、いわゆる情操教育的な話で、観劇に行くとか映画を見るとか、生の音楽演奏を聴くとか、博物館を見学するとか、そういったところというのは、自分自身のことを考えても子どもの頃のことが印象に残っていることが多くて、成長に少しは役立つのかなということで、そういうことを招致してもらったり企画してもらったりしたらどうかというのが1つです。

もう一つは、前にも出ていましたけれども、教員の方のサポートです。多忙化もあり、やっぱり複雑な案件をいろいろ抱えていらっしゃる先生方が多いかと思うので、地域の補助だけではどうしてもできない専門的な分野でもあるので、できることはお手伝いしたいし、アルバイトとか期間採用とか、そういう方を採用していただいて、簡単な仕事だけで結構だと思ってくれる、そういったサポート体制が取れないかというところの2点です。

○赤羽教育次長 そうすれば、今委員のみなさんからそれぞれお挙げいただいたところ、若干重なる部分もありますが、そこはそこでよろしいかと思いますので、今挙げていただいたようなこと……。どうでしょうか。

○齊藤教育長 ざっと整理すると、唐澤委員さんのお話いただいた十二天の森とか、いわゆる財産の活用ですね。博物館もそう、自然とか文化財の活用も含め、財産の活用、どう生かしていくかという問題が1つです。

それから、部活動の地域展開、これが大きな1つ。

それで、もう一つが教員サポート等、学校の特色も兼ね合わせて。やっぱり今年が目玉は学校OTです。作業療法士の導入、これが結構目玉事業なので、この内容についてもちょっと触れられればと——まだ始まったばかりなので、7月というと半年もたっていないところなので、成果っていうのはまだなかなか出てこないだろうけれども、取組については非常にいい取組をしていると思うので、そういうところが——もちろん1つの学校の特色だし、教員サポートの一番のところになっているかなと思います。

今出してもらったところを整理して、こういう項目でどうかというのは次回また話ができればと思っています。

○赤羽教育次長 分かりました。それでは……

○唐澤教育長職務代理者 教育がテーマなので、ほとんどは教育委員会で聞けば分かるというか、こっちで解決してしまうこともあるかもしれないけれども、せっかく市長と話をするので、市長にも内容をある程度理解してもらって、そこで話合いができるほうがいいと思います。

○赤羽教育次長 分かりました。

事前に市長レクというのであればすけれども、今回の教育委員さんたちとの懇談内容については一度話をしつつ、どんな懇談内容にするかというのは、教育委員会職員もそこで市長と話をしつつ、皆さんとの懇談を行いたいと思っています。

○唐澤教育長職務代理者 こちらの質問の仕方にもよるかもしれませんが、それは事務方に聞けば分かるでしょと、そういうふうになっちゃうと……

○赤羽教育次長 どの項目についても市長の思いみたいなものを聞く、そこが大事なことだと思います。かしこまりました。

それでは、整理して、そのような方向で進めていきたいと思います。一度整理して、それを皆さんにお送りして、次回の定例教育委員会で話せるようにしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○齊藤教育長 ありがとうございます。

また皆さんからこういうことはどうかということがあれば事務局にお寄せいただきまして整理していきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

6 報告事項

(1) 行事共催等承認申請の専決処分について

○齊藤教育長 それでは進めます。

報告事項へ参りますが、行事共催等承認申請の専決処分について、倉田係長、お願いします。

○倉田教育総務係長 16 ページをお願いします。

前回から今回までに 16 件の申請がありまして、全て後援申請です。全て承認になっておりまして、このうち新規が 1 件ありました。

下から 3 つ目「足が速くなる教室」ですけれども、こちらは日本こどもスポーツ協会が実施しておりまして、県内だけではなく、全国各地で行っているものです。

社会教育のかけっこ教室も関係があるので確認してもらい、その上で承認となっております。

以上です。

○齊藤教育長 ありがとうございます。

それでは、行事共催等承認申請の専決処分について、よろしいですか。

○小池委員 すみません。

○齊藤教育長 お願いします。

○小池委員 さっきの足が速くなる教室というのは、参加される子どもたちは任意での応募ですか。

○倉田教育総務係長 チラシが配られ、御自分たちで申し込んでもらう形です。

○小池委員 分かりました。

○齊藤教育長 ありがとうございます。

そのほかはよろしいですか。

ありがとうございました。

7 その他

なし

○齊藤教育長 それではその他へ参りますが、何かお持ちの方がいらしたら……。

○駒場学校教育係長 いいですか。

○齊藤教育長 お願いします。

○駒場学校教育係長 すみません。私から 2 件お願いします。

別でお配りした「駒ヶ根市中間教室の愛称設定について」を御覧いただきたいと思います。

それでは、駒ヶ根市の中間教室につきまして愛称を決定いたしましたので、経緯などを含めて説明いたします。

まず資料1の見出し1の愛称を御覧ください。

駒ヶ根市中間教室の愛称ですが、「ひだまり」に決定いたしました。

正式名称は引き続き駒ヶ根市中間教室ということになります。

2番の経緯を御覧ください。

愛称の候補は中間教室を担当されている島尻理恵子指導主事により7案が提案されました。

その後、教育委員会内で協議を重ねた結果、「ひだまり」に決定した次第でございます。

4番の愛称に込めた思いですが、日だまりは日の光が温かく降り注ぐ場所を意味しております。学校へ行きづらいと感じているお子さんたちにとって、温かく、そして安心して過ごせる居場所でありたい、そんな思いが愛称には込められております。

5の周知、今後の対応についてですが、愛称の周知については、既存の駒ヶ根市不登校支援ガイドというものがあるのですが、そちらの該当箇所を修正いたします。

そして、不登校が発生しやすい大型連休の後などの時期に合わせて学校連絡、情報共有ツールの「すぐーる」を通じて支援ガイドにより周知を図ってまいります。

こちらの資料の説明は以上となります。

○齊藤教育長 ありがとうございます。

それでは、今中間教室の愛称について報告がありましたが、御質問等はよろしいですか。

○唐澤教育長職務代理者 ちょっといいですか。

○齊藤教育長 お願いします。

○唐澤教育長職務代理者 愛称はこれでいいと思うけれども、あそこって今看板はありましたか。

○駒場学校教育係長 看板はないです。

○唐澤教育長職務代理者 それを出すのがいいのか、出さないのがいいのか、そういったところの考えがありますか。あまり大々的になると行きにくいということもあるかもしれないし、そこら辺はどうですか。

○駒場学校教育係長 看板の設置については、また教育委員会内で検討させていただきたいと思っております。

○齊藤教育長 あの場所は似たような建物が並んでいて、そこを入っていき最終的に行きついたところにあるということだから、入り口がとどこか分からないかもしれません。

○木下委員 入り口ぐらいは看板があってもいいよね。道路案内まではちょっと控えたほうがいいのかは少し気になりますけれども……。

○齊藤教育長 この間、県教育委員会が訪問に来たのですが、場所が分からなかったと言われました。

○水野子ども課長 前の昭和病院のところには中間教室という小さい看板があったのですがけれども、ここもあればいいのかなという気はしますが……

○唐澤教育長職務代理者 3棟あるので、玄関先にだけでもつけるとか……

○赤羽教育次長 そのくらいはあってもいいかもしれませんね。

ほかにも何かに使っているのかね。

○倉田教育総務係長 ファミリーサポートで使っています。お子さんを預けるときに分からないということがあるので、ファミリーサポートでは看板をつけたいと言っています。

○齊藤教育長 ありがとうございます。

事務局のほうで検討しながら進めていきたいと思います。

お願いします。

○駒場学校教育係長 もう一点ですが、前回の4月28日の定例教育委員会で御指摘いただきました東小学校の学校運営協議会委員に学校関係者が含まれていないという件について御報告いたします。

実は前回の教育委員会と同日の4月28日に東小学校で第1回学校運営協議会が開催されておまして、地域の代表者など委員候補者の皆様の顔合わせを既に終えている状況です。

それで、正式な移植は第2回の運営協議会で行うようですが、現時点では委嘱前でありましたが、既に顔合わせは終えている状況でありまして、現状の方々のから1人外すことはなかなか難しいという状況です。

駒ヶ根市学校運営協議会の規則の中では委員を保護者、地域住民、校長、教職員の中から任命すると規定しておりますけれども、各区分からの選任は必須という文言はございません。

ただし、学校作成の基本方針を協議会で承認する制度の趣旨に照らせば、校長、教職員の参画は本来想定されるものだと思います。

以上を踏まえまして、既に顔合わせを終えていること、また学校の教頭先生や校長先生が事務局として協議会運営に実質的に関与していることを踏まえまして、令和8年度は現メンバーのままでの委嘱を進めてまいりたいと考えております。

なお、令和9年度——来年度の任命に関しましては、あらかじめ学校側と十分調整の上、校長、教頭を委員として任命できるように学校側と調整していきたいと考えております。

以上、よろしくお願いいたします。

○齊藤教育長 ありがとうございます。

よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○齊藤教育長 大事なところだったと思います。ありがとうございます。

そのほかに連絡等々をお持ちの方はいらっしゃいますか。

お願いします。

○倉田教育総務係長 今配らせていただいているものですが、7月1日に行われる上伊那市町村教育委員会連絡協議会総会と研修会の詳細が来ましたので御覧いただければと思います。

皆さん出席ということでよろしいですね。よろしくお願いいたします。

○齊藤教育長 それでは、7月1日、お世話になりますけれども、よろしくお願いいたします。

そのほかに連絡をお持ちの方、よろしいですか。

ありがとうございました。

先ほどの中間教室のところですがこし補足させていただきますと、子どもたちに何かいい愛称はないですかと聞きまして、子どもたちの意見も十分含まれているということをお含みいただいて、よろしくお願いいたします。

○小池委員 いいですか。

○齊藤教育長 どうぞ。

○小池委員 申し訳ないです。

今上伊那教育委員会連絡協議会の紙を配っていただいたけれども、次回の定例教育委員会が6月30日で、その翌日になるけれども、何ていいですか、もうちょっと詳しくというか、何時にどこへ行けばいいとか、我々が幹事になるので何かお手伝いすることはあるのかとか、分かりますか。

○赤羽教育次長 そこはまだ南信教区事務所から細かく来ておりません。要綱を私どもが作って、主導は南信教育事務所がやりますので、6月中旬ぐらいに打合せに来ると言っていましたので、そのところで、また皆さんにはメールか何かで配信するようにしますので……

○小池委員 行き方だとか、いろいろ含めてですね。

○赤羽教育次長 はい。

○小池委員 ありがとうございます。

○赤羽教育次長 東伊那で行いますので、特に小池委員には……。

○小池委員 承知しました。

○齊藤教育長 すみません。来月に入って南信教育事務所がこちらへ打合せに来るという日程調整がありました。お世話になります。よろしくお願いします。

そのほか……

○唐澤教育長職務代理者 そのほかでもう一個、関連して、今の総会ですけれども、情報交換会のときに、恒例というか、市町村ごとに何か企画してやっているところもあるけれども、何か考えているのですか。

○赤羽教育次長 特に考えてはおりませんが、昨年度の箕輪町の後が駒ヶ根で、次は飯島町かな、伊南のほうへ来ます。その委員さんたちからは駒ヶ根市が当番のときにやめてもらいたいという、断ち切ってもらいたいという話をされております。

何か、ずっと、私も3回ぐらい出ておりますが、毎回何かやっていますよね。地元の委員さんたちがそこへ出て何かやっていますよね。飯島町からは、ちょっと、ぜひとも来年のときにやめてもらいたいというようなことを……

○唐澤教育長職務代理者 私もぜひやめてほしい。(笑声)

○齊藤教育長 分かりました。それじゃ……

○唐澤教育長職務代理者 安心しています。(笑声)

○齊藤教育長 そのほかに連絡をお持ちの方、よろしいですか。

ありがとうございました。

8 閉会

○齊藤教育長 それでは、以上をもちまして第6回定例教育委員会を閉じます。

御苦労さまでございました。

午前10時56分 閉会

